# 授業科目　総合演習

| 【担当教員名】 | 対象学年 | 4 | 対象学科 | 理学 |
|---|---|---|---|---|
| 相馬　俊雄　他 | 開講時期 | 後期 | 必修選択 | 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 |

【ディプロマポリシーとの関連性】

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|---|---|---|---|---|
| ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ |

【概要・一般目標：GIO】

理学療法の知識に関する修得の到達度を確認する。そして、理学療法士国家試験に合格するために重点分野・苦手分野に対して補講や集中講義を実施して、理学療法士として必要な知識を修得する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．人体の構造と機能および心身の発達について説明する。
2．疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進について説明する。
3．保健医療福祉とリハビリテーションの理念について説明する。
4．基礎理学療法学の知識を説明する。
5．理学療法評価学の知識と技能を関連付ける。
7．地域理学療法学の知識を説明する。
8．臨床で理学療法士が遭遇する事態を想定し，それを理解する知識や対処方法について説明する。

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | SBO番号 | 学習方法・学習課題<br>備考・担当教員 |
|---|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 1-8 | 講義：授業内容、授業評価の説明，基礎知識確認テスト |
| 2 | 人体の構造と機能１ | 1 | 講義：解剖学（筋・関節・骨・靭帯などの筋骨格系） |
| 3 | 人体の構造と機能２ | 1 | 講義：解剖学（一般臓器など） |
| 4 | 人体の構造と機能３ | 1 | 講義：病理学 |
| 5 | 人体の構造と機能４ | 1 | 講義：生理学（細胞、中枢・末梢神経、内分泌など） |
| 6 | 人体の構造と機能５ | 1 | 講義：生理学（呼吸、循環、代謝、消化、排泄など） |
| 7 | 疾病と障害の成り立ち１ | 2-3 | 講義：リハビリテーション医学 |
| 8 | 疾病と障害の成り立ち２ | 2 | 講義：内科学、神経内科学、整形外科学など |
| 9 | 基礎理学療法学１ | 4 | 講義：基礎運動学 |
| 10 | 基礎理学療法学２ | 4 | 講義：臨床運動学 |
| 11 | 理学療法評価学 | 5 | 講義：検査測定評価学（関節可動域、筋力測定、神経学的検査など） |
| 12 | 理学療法治療学 | 6 | 講義：中枢神経系疾患、整形外科疾患、神経筋疾患、呼吸循環器疾患に対する治療学 |
| 13 | 地域理学療法学 | 7 | 講義：訪問・在宅リハビリテーション、健康増進など |
| 14 | 保健医療福祉とリハビリテーション | 3 | 講義：介護保険、保健福祉施設でのリハビリテーション |
| 15 | まとめ | 1-8 | 到達度確認テスト |

| 【使用図書】 | ＜書名＞ | ＜著者名＞ | ＜発行所＞ | ＜発行年・価格 他＞ |
|---|---|---|---|---|
| 教科書<br>（必ず購入する書籍） | PT/OT 国家試験　必須ポイント　2016　専門基礎分野　基礎医学 | 医歯薬出版 | 医歯薬出版株式会社 | 2015・4,200 円＋税 |
| | PT/OT 国家試験　必須ポイント　2016　専門基礎分野　臨床医学 | 医歯薬出版 | 医歯薬出版株式会社 | 2015・4,400 円＋税 |
| | PT/OT 国家試験　必須ポイント　2016　障害別　PT　治療学 | 医歯薬出版 | 医歯薬出版株式会社 | 2015・4,700 円＋税 |
| | PT/OT 国家試験　必須ポイント　2016　障害別　基礎 PT 学 | 医歯薬出版 | 医歯薬出版株式会社 | 2015・4,700 円＋税 |
| 参考書 | | | | |
| その他の資料 | | | | |

【評価方法】

定期試験および実施される模試試験の成績を含む。
ただし、業者模試（有料）は、成績に含めない。

【履修上の留意点】

各自で修得の到達度と苦手分野・重点分野を自覚し、もう一方で早期から自分の目標を立てて計画的に学習し、学力の向上を目指すこと。